

## 栄区地域福祉保健計画策定・推進会議 開催

3月14日、第2回栄区地域福祉保健計画策定・推進会議を開催し、各地区の代表、福祉・保健・医療各分野、地域ケアプラザ、学識経験者など出席された20名の委員の方からご意見をいただきました。

今回の議題は、「中間振り返りについて」です。今年度は、第3期計画の中間の年にあたり、各地区の皆様にも、中間振り返りを行っていただきました。どうもありがとうございました。

会議でいただいたご意見の中から、一部ですが、ご紹介します。

町内会ごとにサロンを作ろうと、第2期計画の後半から立ち上げてきた。(笠間地区)

サロンづくりは、場所の確保が難しい。

社会福祉法人の地域貢献は重要だけれど、介護現場の人材不足が深刻

在宅医療は高齢者だけでなく、子どもも対象。在宅医療に取り組む医師を増やしたい。

子どもの居場所づくりが進み、青少年活動拠点として、各所と連携を進めたい。

防災だけでなく、地域特性から防犯についても毎年研修を実施(上郷西地区)

検討を重ね、世代を超えて交流できる場として、「たまり場とよだ」を立ち上げた。(豊田地区)

産後うつリスクを減らすためにも、出産前の母親への支援が重要

サロンの実務者同士で、活動を続ける秘訣などの話し合いをもっている。(上郷東地区)

栄区の「あんしんキーパー」は80名、市内で一番多い。見守りの輪を広げていきたい。

シニアクラブの友愛活動を進めるには、社協や民生委員と連携したい。

児童虐待防止の取組として始めた、中学生への「いのちの授業」、開催校が増えている。

地域ケアプラザが支援を進めていく上で、地域との連携は欠かせない。

子育て、高齢者、配食、認知症カフェなどのボランティア団体の交流会を開催(小菅ヶ谷地区)

ヘルスマイトも地域と連携した取組を進めていきたい。

防災をゲーム感覚で体験できる「タッチ—キャラバン」を分科会が連携して実施(本郷第三地区)

障害者やその親の高齢化が進んでいる。地域で安心して暮らし続けられるよう、手を差し伸べて欲しい。

アウトリーチパートナー研修の前に、生活困窮について学ぶことから始めた。(本郷中央地区)

普段の見守りは民生委員、防災は自治会と分かれていたが、もっと連携が必要

### <豊田委員(聖徳大学社会福祉学科教授)から>

- ・「継続性」が重要。そのために、色々な問題に早い段階で取組むことが大切
- ・課題ばかりでは続かない。楽しく、いきいきと活動を!
- ・「連携」は専門機関だけでなく、地域団体とも広くつながると生活全般に広がる。

## 第2回 さかえ・つながるフォーラムを開催しました

### 災害に備え、私たちにできることは～日頃からの地域の取組が大切～

平成31年1月18日（金）／栄区公会堂（たちーらんど）講堂／参加者約150名

今回のフォーラムでは、災害が発生時に高齢者や障害のある方など何らかの支援が必要な方たち（災害時要援護者）への支援について取り上げ、お二人の講師の方に講演いただきました。

#### 講演① 発達障害のある子どもの保護者から

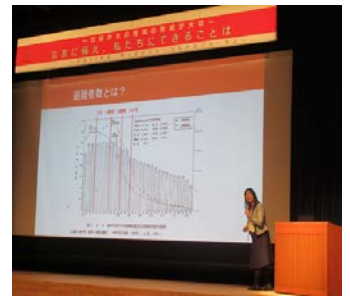
栄区内にお住いの発達障害のある子どもの保護者の方から、ご自身のお子さんの障害に関する特性を踏まえ、災害時に配慮してほしいことについて、お話いただきました。

発達障害といっても、一人ひとり異なりますが、講師からは、音や匂いなどに敏感だったり、目に見えないことを理解するのが苦手、という特性を踏まえて、

- ・災害時、不安になったり混乱するかもしれないけれど、温かい気持ちで見守ってほしい
  - ・こんなことを聞いたら悪いのではないかと思わずに、本人や支援者に聞いてほしい
- など、災害時に周囲が配慮する点について説明していただきました。

#### 講演② 人と人をつなぐ地域の防災活動～要援護者支援を含む被災地での取組から学ぶ～

横浜市立大学 国際総合科学部 石川 永子 氏から、被災地での活動経験や地域防災活動の研究などを踏まえ、各地域で取り組んでいただきたい要援護者支援の取組についてご紹介いただきました。



栄区の各地域での災害時要援護者の取組については、「広報よこはま 栄区版」平成31年1月号で、特集しています。ホームページでもご覧いただけます。

[広報よこはま栄区版](#)

[検索](#)

### 黄色い旗を知っていますか？

横浜市では、発災時に診療可能な病院・診療所等は「診療中」、薬を出すことが可能な薬局は「開局中」の黄色い旗を掲出することになっています。発災時に負傷等をした際には、この旗が出ている医療機関に行ってください。

【平成31年度 旗の掲出訓練予定】

8月31日、1月17日、3月11日

区の医師会、歯科医師会、薬剤師会と協力して、実施しています。当日、現物を確認してみてください。



診療可能な病院・診療所の目印

薬を出すことが可能な薬局の目印



発行  
お問合せ

栄区役所福祉保健課事業企画担当

電話：894-6917 FAX：895-1759

Email：sa-fukuhoplan@city.yokohama.jp